



第 46 回 JSiSE 全国大会のご案内

担当者： 全国大会委員会

2021 年度全国大会のテーマ・開催日・開催場所の予定が決まりました。

テーマ：	ニューノーマル時代の学びのサステイナブル化を支える教育システム技術
開催日：	2021 年 9 月 1 日（水）～ 9 月 3 日（金）
開催場所	広島工業大学 五日市キャンパス
（予定）：	http://www.it-hiroshima.ac.jp/

是非ご参加ください。大会の詳細は、随時 Web サイト等でご案内いたします。

■ 会場外観



■ アクセス

<http://www.it-hiroshima.ac.jp/about/access/itsukaichi/>

<JR・私鉄>

- JR 山陽本線「五日市」駅下車 ⇒ 広電（広島電鉄）宮島線に乗り換えて「楽々園」下車 ⇒ 徒歩 15 分
- JR 山陽本線「五日市」駅下車 ⇒ タクシー乗車（約 12 分、約 900 円）
- JR 山陽本線「廿日市」駅下車 ⇒ タクシー乗車（約 10 分、約 800 円）

<バス（広電バス）>

1. 五日市駅南口発「楽々園」経由「東観音台団地」「湯来温泉」方面行きに乗車
2. 「広島工大入口」下車
3. 徒歩 3 分



第46回（2021年度）教育システム情報学会全国大会 企画セッション テーマ募集のご案内

教育システム情報学会 全国大会委員会
委員長 小尻 智子

企画セッションは参加者にとって関心が高く、より詳細な研究テーマに焦点をあてたセッションです。以下のようにテーマを公募いたします。奮ってご応募ください。テーマが採用された方はオーガナイザになっていただき、発表募集の広報やプログラム作成、セッションの実施を行っていただきます。なお、お申し込みいただいた内容にしたがって全国大会委員会プログラム部会で審査をし、採否を決定させていただきますので、ご了承ください。

企画セッションの講演原稿のフォーマット、投稿方法、1セッションあたりの発表数、講演時間等は一般セッションと同じです。ただし、オーガナイザの裁量で1スロットにつき講演1件分を議論の時間にあてることができます。セッションの時間帯やスロット数は、大会プログラム作成時に全国大会委員会大会プログラム部会にて講演申込み数や全国大会全体の構成に応じて決定いたします。講演申込みは大会 Web の講演申込みサイトより、一般から公募いたします。また、企画セッションでの発表も大会奨励賞の対象となります。

企画セッションのテーマは一般セッションよりも特化したテーマに焦点があてられていることが望めます。テーマご提案の際には、一般セッション講演募集用のカテゴリ表を参考にしてください。

■オーガナイザにご担当いただく事項

- 発表募集の広報（企画セッションの概要は全国大会 Web ページに掲載されます）
- 企画セッションのプログラム（発表順）の決定
発表申し込み数によっては、一部の発表を一般セッションに移動する必要があります。
その際、オーガナイザには一般セッションに移動する発表を決定していただきます。
- 座長の選定
原則としてオーガナイザが座長をご担当ください。セッションが複数になった場合は、各セッションの座長を異なるオーガナイザで担当していただきます。
- 当日のセッション運営

■お申し込み方法

以下の項目をご記入の上、全国大会委員会プログラム部会 (jsise-taikai-pc@jsise.org) 宛まで電子メールにてお申し込みください。

※送信後に投稿が保留された旨のメールが自動的に届きます。それとは別に後日受付の連絡をさせていただきますので、お待ちください。

- テーマ（企画セッション名）
- 概要（400文字程度）
- テーマが該当するカテゴリ、分野（カテゴリ表より選択、多くて2～3個を目安としてください）
- テーマが該当するキーワード（カテゴリ表中のキーワード）

- テーマ独自のキーワード
- オーガナイザ全員の氏名と所属，代表者の連絡先（電子メールアドレスなど）
※オーガナイザは教育システム情報学会会員に限ります。

■ 申込期限

2021年2月19日（金）（2021年2月26日（金）までに採録結果を通知いたします）

議論観点	カテゴリ	分野名 (発表時にはここだけ選択してもらいます プログラム編成においてセッション名として使います)	キーワード (分野選択時の参考にしてください。 ただし、各分野の発表はこれらに限るものではありません)
支援対象	設計	授業設計・インストラクショナルデザイン	授業研究, 学習理論, 教育方法, カリキュラム・デザイン, 授業評価, 授業実践, シラバス, 研修設計
		学習環境デザイン	デザイン研究, 学習科学
	教育・学習手法	遠隔教育	通信教育, 国際交流, 交流学习, 異文化交流
		ブレンディッド学習	反転授業, eラーニング授業利用
		連携型教育	小中連携, 中高連携, 高大連携, 大学間連携, 科目間連携, 地域連携, 産学連携
		協調学習	コミュニティ支援, コミュニケーション支援, グループ学習, ディスカッション支援
		アクティブラーニング	作問学習, PBL, クリッカー, アイデアソン, ハッカソン, ルーブリック, サービスラーニング, テキストコミュニケーション, 社会人基礎力, 反転授業, 体験学習
	分析・評価	学習者特性・行動分析	ポートフォリオ, アフェクティブラーニング, 質的分析, 学習履歴分析, レディネス, 生体情報, レスポンス分析, 教学インスティテューショナル・リサーチ(IR), 質問行動
		学習評価・アセスメント	リフレクション, ルーブリック, テスト理論, 質的評価, 適応型テスト, 数理モデル, ピアアセスメント, グループワーク評価, パフォーマンス評価, 項目反応理論, 所見による評価
	対象別教育	HRD・生涯学習	リカレント教育, 社会人教育, 企業内教育/研修, 異文化理解
		高等教育	キャリア教育, 質保証, リメディアル, 初年次教育, ファカルティ・ディベロップメント(FD), 研究活動支援, ティーチングポートフォリオ, チュータートレーニング, 教養教育, 教職課程
		初等中等教育	言語活動, 教科指導, 授業実践, 教師教育, 情報モラル, 一人一台タブレット環境
	領域別教育	プログラミング教育	アルゴリズム理解, ビジュアルプログラミング, プログラミング言語教育, オブジェクト指向教育, ロボットプログラミング, WebAPI
		情報技術教育	ネットワーク教育, データベース教育, 組み込みシステム教育, モデリング教育, システム要件定義, 技術者倫理教育, ソフトウェア開発教育, IoT
		語学教育	日本語学習, 外国語学習, 聴解学習, 発話学習, 作文教育, 読解教育, 語彙・単語学習, 文法教育, エッセイライティング, 例文検索
		教科教育	教科情報, 数学, 国語, 理科, 社会, 音楽, 美術, 技術・家庭科
		特別支援教育	インクルーシブ教育, LD, ADHD, 発達障害, 院内学級, 身体障害, 知的障害, 視覚障害, 言語障害
		スキル学習	身体知, 経験知, 学習スキル, メタ認知, 問題解決支援, 批判的思考, 自己調整学習
		医療・看護・福祉教育	カウンセリング, ボランティア, 介護, 理学療法, 保育, 作業療法, スポーツ医学
		情報リテラシー	プレゼンテーション支援, コンピュータ操作, 情報倫理, セキュリティ, 情報モラル, 情報スキル, クラウドサービス活用
防災教育		レジリエンス, リスクマネジメント, 災害情報, 意思決定, 災害心理, 疑似体験, 避難訓練, 災害アーカイブ	
技術		ICT活用	マルチメディア活用
	ソーシャルメディア活用		ソーシャルブックマーク, SNS, BLOG, マイクロBLOG, チャット
	デバイス活用		モバイル, タブレット, ユビキタス, ウェアラブル, ヒューマノイドロボット, IoT
	プラットフォーム活用		LMS, eポートフォリオ, CMS, テレビ会議システム, コンテンツ共有
	技術開発・運用	プラットフォーム開発	LMS, CMS, プラグイン, CSOL, eポートフォリオ, eテストング, API, データフォーマット, デバイス, テレビ会議システム, クラウド利用
		インフラストラクチャ	認証, ネットワーク構築, センサネットワーク, クラウド, セキュリティ, システム連携, 仮想化, データ運用管理, 教材データベース, BYOD
		コンテンツ作成支援	コンテンツ・オーサリング, カリキュラム・オーサリング, コンテンツ自動生成, SCORM, LOM, 問題作成支援
		先進的学習支援技術	AI(人工知能), アフェクティブコンピューティング, エージェント, 機械学習, 情報検索, 適応的支援, ナビゲーション支援, リフレクション支援, 情報推薦, ゲームフィケーション, 外在化支援, 抽象化支援, 知識マップ
	分析技術	分析技術	テスト理論, データマイニング, ラーニングアナリティクス, ビッグデータ
		モデリング技術	メタ認知, 学習科学, 学習者モデル, 認知ツール, 数理モデル, ドメインモデリング
ユーザインタフェース		仮想現実(VR), 拡張現実(AR), HCI, 視線入力, ヘッドマウントディスプレイ(HMD), ジェスチャー入力, 3D, 可視化, センサーデバイス, 音声入力, シミュレーション, マイクロワールド, 擬人化技術, アウェアネス, テレイグジスタンス, 力覚情報, ヒューマノイドロボット	
その他	その他	その他	



第 6 回研究会 開催案内

担当者： 西野和典（太成学院大学）、西端律子（畿央大学）、鷹岡亮（山口大学）、
浅羽修丈（北九州市立大学）、長谷川理（武蔵野大学）、尾崎拓郎（大阪教育大学）、
永田奈央美（静岡産業大学）、山本樹（明海大学）

■ テーマ：一人 1 台時代の情報活用能力育成

■ 開催日時：2021 年 3 月 21 日（日）

■ 会場：オンライン開催

■ 趣旨：

2019 年末、子どもたち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育 ICT 環境の実現に向けて、GIGA スクール構想が示されました。これから確実にやってくる超高速ネットワーク、クラウド、一人 1 台から一人 1 アカウント時代において、プログラミング教育、探究的・プロジェクト的な学びにおける ICT 活用など情報活用能力、さらに情報統合能力の育成はより重要になってくると考えられます。

また、COVID-19 の拡大の影響により、休業が長期化し教育課程の実施に支障が生じる事態に備えて、一人 1 台端末の早期実現、家庭でもつながる通信環境の整備を加速させることで、ICT の活用により全ての子供たちの学びを保証できる環境を早期に実現するために、文部科学省が 2020 年度の補正予算を計上しました。このことにより、教育現場での ICT 環境の整備や ICT 機器を用いた教育方法を検討することは急務となっています。これらのことから、初等・中等・高等教育、あるいは接続性を踏まえた情報活用能力の育成について参加者の皆さんと考えていきたいと思えます。

そこで第 6 回研究会では、上記についての研究や議論を深めるため、「一人 1 台時代の情報活用能力の育成」に関連する研究発表を募集します。対象は、小中高に限らず、大学等で持続可能な教育実践研究や、それらを支援するシステムなどを開発・研究されている研究発表を募集し、共に考える議論の場としたいと考えています。

■参加申込および参加費等：

オンライン開催の関係で、事前の参加登録が必要となります。

当研究会へ参加をご予定の方は、発表者、共著者、参加のみの方を問わず、事前に以下の URL より参加登録を行ってください。

<http://bit.ly/3p5GTVM>

ご登録いただきました方には、第 6 回研究会へのアクセス方法（Zoom）とパスコードをお送りいたします。

研究会への参加は無料ですが、発表者の方で研究報告の年間購読をされていない方には、当日分のオンライン研究報告集の購入（1,000円）をお願いしております。詳しくは以下のQ&Aをご覧ください。

<https://www.jsise.org/society/faq.html>

上記に該当する方および研究報告の購入を希望される方は、上記事前参加申込 URL より購入希望の旨を入力し、記載されている振込先口座情報に従って振込を行ってください。

アクセス方法については、研究報告の公知日以後にご登録いただいたメールアドレスにお知らせいたします。

■研究報告について：

研究報告は電子化されています。年間購読をお申し込みの会員の方は、研究会開催日の約1週間前から会員専用マイページで閲覧できます。非会員の方や、年間購読を申し込まれていない方で購入を希望される方は、[jsise-post\[at\]bunken.co.jp](mailto:jsise-post[at]bunken.co.jp)（[at]を@に置き換えてください）（担当：教育システム情報学会事務局 木村）にメールでお申し込みください。振り込み先やアクセス方法などを折り返しご連絡いたします。

なお、年間購読（4,000円）をお申し込みいただくと、年6回の定例研究会と1回の特集研究会の計7回分の研究報告を読むことができます。申込方法等については、以下のページをご覧ください。

<https://www.jsise.org/utility/information/20160222.html>

■お問い合わせ先：静岡産業大学 永田奈央美，明海大学 山本樹（第6回研究会担当委員）

E-mail：[jsise-sig-6th\[at\]googlegroups.com](mailto:jsise-sig-6th[at]googlegroups.com)（[at]は、半角の「@」に変更してください）



2020 年度 特集論文研究会 開催案内

担当者： 学会誌編集委員会委員長 瀬田和久（大阪府立大学）

- テーマ： Society 5.0 に向けたオンライン学習および AI・数理・データサイエンスと人材育成支援に関わる教育システム
- 開催日時： 2021 年 3 月 20 日(土)
- 会場： オンライン開催
- 趣旨：

※本研究会は、特集号論文並びに 2020 年度第 3 回研究会(※9 月 27 日(日)開催済)との連動企画です。

新型コロナ感染症への社会的対処として、サイバー空間の積極的な活用がなされています。本特集号では、転換が加速する「Society 5.0 時代に向けた教育システム」に関する論文を募集いたします。「Society 5.0」では、サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させるシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会が提唱されています。新型コロナ感染症の影響下でのオンライン学習の実践は、まさに Society 5.0 社会に向けた経験知を醸成しています。フィジカル空間に主軸があった学習活動がサイバー空間にも広く展開され、学習履歴のビッグデータ収集・蓄積・分析が加速することで、フィジカル空間での学びに対しても新しい価値創造の機運が高まっています。そのような分析に携わる AI・数理・データサイエンスに関わる知識とスキルを身に付けた人材育成も急務であり、それに関わる教育システムも、新しい社会への転換に強く寄与するものです。

学会誌特集論文の案内：https://www.jsise.org/journal/cfp2021_offer.html

- 発表申込締切： 締め切りました。
- 原稿提出締切： 2021 年 2 月 17 日(水)
原稿の執筆・投稿にあたっては、以下のページをご確認ください。
 - ・執筆要領：<https://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf>
 - ・研究報告見本：<https://www.jsise.org/society/pdf/sample.pdf>
 - ・研究報告ひな形：<https://www.jsise.org/society/doc/sample.docx>
 - ・オンライン原稿投稿：<https://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>
- 参加登録： 研究会の発表者、共著者、聴講参加を問わず、全ての方は、できる限り事前の参加申込へのご協力をお願いします。
 - ・特集論文研究会参加申し込みフォーム：<https://bit.ly/34AuKzM>

なお、当日も本研究会が終了するまで参加登録いただけます。登録していただいた方へは、特集論文研究会の開催用 URL (ZOOM) を登録時の自動送信メールでお送りいたします。

■ 参加費等：

研究会への参加は無料ですが、発表者(登壇者)の方で研究報告の年間購読をされていない方には、当日分のオンライン研究報告の購入(1,000 円)をお願いしております。詳しくは以下の Q&A を御覧ください。

- ・研究会参加に関してよくあるご質問 (FAQ)：

<https://www.jsise.org/society/faq.html>

上記に該当する方および研究報告の購入を希望される方は、上記事前参加申込 URL より購入希望の旨を入力し、記載されている振込先口座情報に従って振込を行ってください。

研究報告へのアクセスキーについては、公知日 (3 月 12 日) 以降に事務局または本研究会担当委員より、領収書 (希望する方のみ) については、事務局からお送りします。なお、年間購読を希望される方は、次項「研究報告について」を参照してください。

■ 研究報告について：

研究報告は電子化されています。年間購読をお申し込みの会員の方は、研究会開催日の約 1 週間前から会員専用マイページで閲覧できます。非会員の方や、年間購読を申し込まれていない方で購入を希望される方は、参加登録時の jsise-post@bunken.co.jp (「@」の部分は、半角の「@」に変えて下さい) (担当: 教育システム情報学会事務局 木村) にメールでお申し込みください。振り込み先やアクセス方法などを折り返しご連絡いたします。

なお、年間購読(4,000 円)をお申し込みいただくと、年 6 回の定例研究会と 1 回の特集研究会の計 7 回分の研究報告を読むことができます。申込方法等については、以下のページをご覧ください。

- ・研究会報告の電子化のお知らせと年間購読の申込みについて：

<https://www.jsise.org/utility/information/20160222.html>

■ 映像収録について：

特集論文研究会は希望される発表者への閲読コメント作成のため、当日の閲読を希望されるオンライン口頭発表および、その質疑応答の様子をオンライン会議の録画機能を用いて、映像収録させていただきます。この点、あらかじめご承諾よろしく願いいたします。

■ お問い合わせ：

特集論文研究会担当委員 後藤田 中 (香川大学)

E-mail: gotoda.naka@kagawa-u.ac.jp (「@」の部分は、半角の「@」に変えて下さい)

★★ 多くの方のご参加を心よりお待ちしております！ ★★



第5回研究会 開催報告

担当者： 光原弘幸（徳島大学）、佐々木整（拓殖大学）、三石大（東北大学）、
高木正則（岩手県立大学）、鷹野孝典（神奈川工科大学）

■ テーマ：実世界指向の教育学習環境／一般

■ 開催日：2021年1月9日（土）

■ 開催会場：オンライン（Zoom）

■ 概要：

2021年1月9日、徳島大学南常三島キャンパスで開催予定だった第5回研究会をオンライン（Zoom）で開催しました。2020年から続くコロナ禍により、オンライン開催を余儀なくされましたが、全国各地から36名の参加者があり、9件の発表はスムーズに行われ、質疑応答も活発でした。オンラインでの学会発表が皆さんにとって日常化してきているように感じ、今後の学会発表の在り方はどうなるのだろうか、と思いを巡らせた次第です。

発表内容は多岐にわたり、今回のテーマである“実世界指向の教育学習環境”に関する発表に加え、コロナ禍において教育学習を継続させる／強化する創意工夫や実践事例に関する発表もありました。実世界で人と会うこと、モノに触れることなど、これまでは当たり前に行っていたことができない状況において、本研究会への参加が皆さんの今後の教育学習活動に役立ち、前向きになることにつながったとすれば、大変嬉しく思います。

研究会終了後、クラウドオフィス RISA (<https://www.risa.ne.jp/>) 内で試験的にオンライン懇親会を開催しました。シラフでの1時間のトークでしたが、3次元空間でアバタを介してつながる新鮮さも相まって、さまざまな話題で盛り上がりました。新しい懇親会の形を垣間見た気がします。また、現地で顔を合わせ、ご当地の肴を囲むことができる日が一日でも早く戻ることを改めて切に願うきっかけとなりました。RISAの利用を許可していただいた株式会社 OPSION 様に、この場を借りて御礼申し上げます。

■ 発表タイトル一覧：

- ・ 海事教育での遠隔授業における全天球映像の活用
- ・ 熟練者の視線分析に基づく AR 型採点システムの提案—採血技術における—
- ・ ゲーミフィケーションによるオンデマンド TA 研修の試行
- ・ ブロックでプログラミングできる IoT 学習環境の改良
- ・ OpenFlow を用いたネットワーク学習教材の開発
- ・ 外国語学習のためのデジタル教科書とカスタマイズ機能
- ・ 作問時の目標設定と自己評価・他者評価を取り入れた作問学習の実践と評価
- ・ オンライン授業における協同学習への参加と学習成果の関係
- ・ 自己調整学習を主題とする授業実践の学習効果分析



2020 年度学生研究発表会開催案内（最終報）

担当者：人材育成委員会

今年度はオンラインにて、学生研究発表会を下記の通り開催します。

（発表申し込みは 2 月 9 日までに延長されました）

開催地区・開催日	担当窓口（連絡先）・備考
北海道 2021 年 3 月 5 日（金）	山本裕一（北海道大学）・sierra@iic.hokudai.ac.jp
北信越 2021 年 3 月 1 日（月）	森 祥寛（金沢大学）・hse-submit@jsise.org
関東 2021 年 3 月 8 日（月）	山本 樹（明海大学）・辻 靖彦（放送大学） jsise-kanto-sub@jsise.org
東海 2021 年 3 月 6 日（土）	宮崎 佳典（静岡大学）・yoshi@inf.shizuoka.ac.jp
関西 2021 年 3 月 4 日（木）	河野 稔（兵庫大学）・kawano@hyogo-dai.ac.jp ※ポスター発表あり
中国 2021 年 2 月 27 日（土）	林 雄介（広島大学）・hayashi@lel.hiroshima-u.ac.jp ※インタラクティブ発表あり
四国 2021 年 3 月 7 日（日）	米谷 雄介（香川大学）・kometani.yusuke@kagawa-u.ac.jp
九州 2021 年 3 月 1 日（月）	石塚 丈晴（福岡工業大学短期大学部）・ishizuka@fit.ac.jp
沖縄 2021 年 3 月 1 日（月）	小渡 悟（沖縄国際大学）・sodo@okiu.ac.jp

最新情報は、学会ウェブページにて更新していきます。ご不明な点は、開催地区の 担当窓口にご確認ください。



2022 年度発刊 特集号論文募集

担当者： 学会誌編集委員会委員長 瀬田 和久（大阪府立大学）

「 Society 5.0 に向けたオンライン学習および AI・数理・データサイエンスと
人材育成支援に関わる教育システム 」

論文投稿締切：2021 年 6 月 1 日（火）（予定）

2022 年 4 月 1 日 発行（予定）

新型コロナウイルスへの社会的対処として、サイバー空間の積極的な活用がなされています。本特集号では、転換が加速する「Society 5.0 時代に向けた教育システム」に関する論文を募集いたします。「Society 5.0」では、サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させるシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会が提唱されています。新型コロナウイルスの影響下でのオンライン学習の実践は、まさに Society5.0 社会に向けた経験知を醸成しています。フィジカル空間に主軸があった学習活動がサイバー空間にも広く展開され、学習履歴のビッグデータ収集・蓄積・分析が加速することで、フィジカル空間での学びに対しても新しい価値創造の機運が高まっています。そのような分析に携わる AI・数理・データサイエンスに関わる知識とスキルを身に付けた人材育成も急務であり、それに関わる教育システムも、新しい社会への転換に強く寄与するものです。

1. 対象分野

開催延期となった東京五輪に向けたスポーツテック導入に基づく教育（トレーニング）、また自治体では、コロナ感染の対処も含めオープンデータを活用した災害・防犯教育のシビックテックも見られ、幅広い分野の教育にレジリエントな社会の実現に向けたデジタルトランスフォーメーション(DX)が期待されます。Society 5.0 時代への転換を見据え、高等教育機関等における AI・数理・データサイエンス教育等に関わる論文に加え、リカレント教育も含めた、今後の「Society 5.0」に向けた教育発展に寄与するオンライン学習の実践の論文を募集します。また、先行的な取り組みとしての情報教育（IoT を含むプログラミング、カリキュラム設計等）、さらに、遠隔医療、農業、建設業も含めた幅広い分野の教育において、先端技術（5G・ロボット・ドローン・ブロックチェーン等）の活用を見据えた人材育成の支援の取り組みに関する教育システムの論文も広く募集いたします。

2. 論文種別

すべての種別（一般論文、実践論文、ショートノート、実践速報）の論文を募集いたします。なお、査読を通して、異なる種別での採録となる場合があります。また、内容により一般号掲載論文へ変更する場合があります。

3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください。Web 投稿の際には、以下の点にご注意ください。

- 「投稿種別」で「特集号」を必ず選択してください。
- 特集論文研究会(2021年3月20日(土))で発表を行った方は、投稿情報入力の際に「事務局への連絡事項」の欄に、特集論文研究会での発表題目と発表番号を記載してください。

4. スケジュール

論文投稿締切： 2021年6月1日(火) (予定)
採録通知予定： 2021年11月上旬 (予定)
学会誌掲載： 学会誌Vol. 39, No. 2, 2022年4月1日発行 (予定)

本特集号と同一テーマの研究会「特集論文研究会」を開催します。是非、ご参加ください。
詳細は、今後の最新の開催案内(<https://www.jsise.org/society/committee.html>)をご覧ください。

特集論文研究会： 2021年3月20日(土)
会 場： オンライン開催

5. 特集号編集委員会

委員長： 瀬田 和久(大阪府立大学)
副委員長： 村上 正行(大阪大学)
筆頭幹事： 松田 憲幸(和歌山大学)
幹 事： 後藤田 中(香川大学), 田中 孝治(金沢工業大学)
幹事補佐： 近藤 伸彦(東京都立大学), 山元 翔(近畿大学)
委 員： 学会誌編集委員, 特集号編集委員

6. 問い合わせ

全 般： 後藤田 中 (香川大学) E-mail: gotoda.naka@kagawa-u.ac.jp
(「@」の部分は、半角の「@」に変えて下さい)

Web投稿： 編集事務局
電話： 03-5389-6492
E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp
(「@」の部分は、半角の「@」に変えて下さい)
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-4-19 株式会社国際文献社 長澤氏



Information and Technology in Education and Learning (ITEL) 論文募集 [<https://www.j-itel.org>]

2002年から英文誌（The Journal of Information and Systems in Education）を発行してまいりましたが、2020年4月1日より、日本教育工学会（JSET）との合同英文誌 ITEL (Information and Technology in Education and Learning, <https://www.j-itel.org>) を立ち上げ、ITEL Vol.1 を2021年3月より公開予定です。現在は、ITEL Vol.2 の掲載論文を募集しています。

この ITEL では、我が国における教育学・教育システム情報学の国際的な発信力を強化するとともに、国際的な共同研究・研究交流のプラットフォームになることを目指しています。ITEL は、JSiSE 英文誌と同様、J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルです。研究対象は、教育システム情報に関連した領域全般はもちろん、様々な教授学習場面のための方法・技術に関する基礎研究・開発研究・実践研究等も含まれます。

革新的な研究成果、ユニークな実践等を世界に向けて積極的に発信していただければ幸いです。

- 論文種別：一般論文（Regular Paper, 基本 8 ページ）、実践論文(Practice Paper, 基本 8 ページ)
システム開発論文（Development Paper, 基本 8 ページ）
ショート論文(Short Paper, 基本 4 ページで最長 6 ページまで)
<これまでのショートノート（Short Note）と実践速報（Report on Practice）を含みます>
 - 投稿締切：1 年中投稿を受け付けています。
<JSiSE 英文誌と同様、投稿後、7 か月までには、採録の可否を決定・通知する予定です>
 - 投稿要件：
 - 論文は他学会において査読中でないこと、そして、その主要部分が未発表であること。ただし、国際会議、学会の大会、研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます。
 - 投稿者は本会会員である必要はありませんが、本会会員あるいは JSET 会員である場合には掲載料に会員の価格が適用されます。投稿者が 2 名以上の連名の場合は、そのうち少なくとも 1 名が会員であれば、掲載料に会員価格が適用されます。
 - 原稿執筆要領：ITEL Web サイトに、執筆要領（Author Guidelines）等がアップされています。
 - 投稿方法：< [ITEL 電子投稿システム] https://iap-jp.org/j-itel/journal_e/ >
 - ITEL Web サイト上から、電子投稿システムにログインして投稿を行って下さい。
 - 初めて電子投稿システムを利用する場合は、まず利用者用 ID の発行手続きを行って下さい。
 - 投稿論文は、論文執筆用テンプレートファイルを用いて PDF ファイルに出力して提出して下さい。
 - 投稿論文は、投稿前にできるだけ英文校正（Proofreading）を受け、証明書提出を推奨しています。
 - 査読方法：
 - 投稿論文の査読は、JSiSE 英文誌と同様に、シングルブラインド制で行われます。
 - 査読者は 2 名（Short Paper は 1 名）で、査読回数は 2 回となります（著者照会 は 1 回のみ）。
 - 評価項目は、Originality（新規性）、Usefulness（有用性）、Reliability（信頼性）、Presentation（明瞭性）の 4 項目となり、JSiSE 英文誌と異なり、査読中に投稿論文の種別変更はありません。
- 投稿者の希望に基づき、JSiSE 英文誌と同様、日本語で査読コメントを受けることもできます。



「博士論文紹介」の原稿募集について

担当者： 学会誌編集委員会委員長 瀬田 和久（大阪府立大学）

コミュニティプラザ「博士論文紹介」で一同に紹介

これまで学会誌のコミュニティプラザ「博士論文紹介」では、最近 2 年程度の間博士号を取得された方に委員会より依頼し、毎号お一人ずつ寄稿していただきました。一方で、日本のあらゆる研究分野において博士号取得者が減少傾向にあるなか、本学会分野で活動する博士号取得者また読者の立場を中心に考え、現状の紹介方法で良いか学会誌編集委員会において議論を行って参りました。この結果、毎号から年 1 回の紹介企画へ移行し、各巻の No. 3（7 月 1 日発行）に集約して紹介することといたしました。寄稿依頼を年度末前後の 3～4 月頃とすることで、複数の博士号取得者を一同に紹介できることとなり、博士号取得者の研究テーマの動向を読者の皆様が一目で把握することが可能になります。博士号取得者同士が互いを知る機会として、交流を深めるきっかけとしても期待しております。

今後、毎年度末に、本誌や学会のニューズレターなどを通じて、募集を行っていく次第です。お近くに博士号取得者や、過去あるいは今後学会誌掲載時に博士号取得予定者がいらっしゃいましたら、ご本人または、指導教員の立場によらず、以下の教育システム情報学会誌編集委員会のメールアドレスまで、お気軽に情報提供いただけますと幸いです。

スケジュール

原稿締切： 2021年4月23日（金）（予定）
学会誌掲載： 学会誌Vol. 38, No. 3, 2021年7月1日発行（予定）

執筆要領

執筆要領&原稿テンプレート：
https://www.jsise.org/journal/doc/community_plaza_tmplate.doc

問い合わせ等

問い合わせ先（原稿提出先）：教育システム情報学会誌編集委員会
E-mail: editors@jsise.org
（「@」の部分は、半角の「@」に変えて下さい）

担当委員：後藤田 中（香川大学）
E-mail: gotoda.naka@kagawa-u.ac.jp
（「@」の部分は、半角の「@」に変えて下さい）



研究会報告年間購読の申し込みについて

研究会報告は、2016年度からは印刷媒体での研究会報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究会報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得になっております。

- ・年間購読:4,000円(定例研究会年6回、特集研究会1回、計7回分を含む)
- ・当日販売:1冊1,000円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いいたします。以下の手順でお申し込みください。すでに年間購読をしていた方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局 (secretariat@jsise.org) まで年間購読申込をしてください。

=====

※研究会報告年間購読希望

会員番号 (お分かりであれば) :

お名前 :

所属 :

連絡先 e メールアドレス :

=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。

東海支部より活動報告

担当者： 長谷川 信・伊藤 敏（岐阜聖徳学園大）、山住富也（名古屋文理大）、
津森伸一（聖隷クリストファー大）

JSiSE 東海支部では、2020年12月に、下記の通り、講演会を開催しました。
以下の通り、ご報告いたします。

JSiSE 東海支部 2020年12月講演会

1. 日程 2020年12月19日(土)
2. 方法 Zoomを用いたオンライン開催
3. プログラム

◎ 東海支部 役員会（13:00～13:45）

◎ 研究会（14:00～16:00） 座長：津森伸一（聖隷クリストファー大学）

(1) 「ICT保育活用と保育者養成」

神谷 勇毅 先生（鈴鹿大学短期大学部）

(2) 「大学教務系システム障害の事例分析 ～大学情報部門担当者視点からの真因追及～」

松川 正幸 先生（愛知教育大学教育学研究科卒）

◎オンラインでの聴講者数 14名

ご講演後の質疑では、多数の意見が寄せられ、有意義な議論をすることができました。

北信越支部主催ワークショップ 「成果発表を磨く」開催・募集のお知らせ

北信越支部では、広く教育工学，教育システム情報学を研究する学生・若手研究者の自己研鑽を支援するため、【成果発表を磨く】というワークショップを開催しています。

内容は、論文執筆を目標とした研究のまとめかたに関する講演とともに、学位取得を目指す博士生や論文投稿を目指している修士生による研究発表と、論文執筆と目標とした議論です。過去のワークショップでは参加者より、多くのコメントもいただきました。これらの様子は、北信越支部の Web サイトや Facebook にてご覧いただけます。また、数多くのコメントをいただいた博士課程学生の皆さんは論文採録 2 本，国際コンペ表彰 1 名，学位取得 4 名など，それぞれに成果をあげています。

本年度は以下の内容にて開催を計画しています。なお，本ワークショップは，全国の学生会員もしくは会員の皆様が指導されている学生を対象としたワークショップとなっております。

「成果発表を磨く」実践的な機会であり，研究に対する多くの有益なコメントをいただける機会です。併せて，学生研究発表会もありますので，学生の皆さんはこれらと合わせて是非ご参加ください。

○北信越支部ワークショップ【成果発表を磨く】

開催日時：2021 年 3 月 1 日（月）

開催方法：オンライン開催 ※ 詳細については Facebook などでご案内します。

話題提供・討論概要：

申込者には，1 件あたり 50 分の時間が与えられます。

与えられた時間の中で話題提供と討論をしてください。

事前に予稿等の原稿提出は不要です。当日の資料配付等は可とします。

対象：博士後期課程学生もしくは博士前期課程で論文投稿を目指す者

JSiSE 学生会員または JSiSE 会員に指導を受ける者

申込方法・〆切：2 月 8 日（月）※ 定員になり次第締め切ります。

申込み，お問い合わせ先：北信越支部研究会担当 hse-submit@jsise.org

※ 話題提供のタイトル，氏名，連絡先，指導教員の氏名をお知らせください。

北信越支部 Web サイト：<http://www.jsise.org/~hse/>

北信越支部 Facebook：<https://www.facebook.com/jsisehse>



Twitter アカウムの紹介

2016年8月下旬より、全国大会開催に合わせて学会の公式 Twitter アカウムの開設しました。本アカウムの原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております。本学会へのご質問・お問い合わせは、学会事務局 (secretariat@jsise.org) へお願いします。また、Facebook アカウムの連携も行っており、Facebook ページの投稿が Twitter にも流れますので、ぜひご活用 (フォロー) ください。

<https://twitter.com/JsisePr>

2021年1月26日現在、フォロワー数 253 アカウムの



Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会では Facebook ページを運用しています。本ページでは、

- ・論文・発表募集
- ・本学会に関連するイベントの情報

などを、いち早くお届けします。ぜひ、ご覧下さい。

Facebook ユーザの方は、ぜひ、「いいね」をお願いいたします。

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

2021年1月26日現在、いいね 431 件、473 人フォロー





会費納入のお願い

会費納入についてのお願いです。学会の活動は皆様の会費で支えられていますので、2020年度会費未納の方はご協力のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。なお、2月上旬に2021年度会費納入のお願いをメールでお送りしますので、合わせてお願いいたします。

「クレジット決済」、「コンビニ決済」をご希望の方は、下記のマイページよりお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページのURLは、会員情報管理システムの業務委託をしている株式会社国際文献社のものです。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号：00180-6-709632

加入者名：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）

店名：〇一九 店（ゼロイチキョウ店） 預金種別：当座 口座番号：0709632

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆三菱UFJ銀行（金融機関コード：0005）

店名：上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別：普通 口座番号：0142708

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆みずほ銀行（金融機関コード：0001）

店名：茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別：普通 口座番号：1399483

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。
※所属が変わった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

【過年度年会費を支払われていない方へ】

マイページでは、全ての年度の未納金額を合算した金額が請求されます。先に本年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、会員資格停止の手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局（secretariat@jsise.org）までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-6824-9376 Fax:03-5227-8631 Email : secretariat@jsise.org



事務局より



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものです。

■会員専用ページでは、以下のことができます。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要です。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。

URL : <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、入会金を無料にさせて頂くというキャンペーンを行っております。そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。



新入会員のご紹介

下記の皆様が新しく入会されました。(2020年11月21日～2021年1月22日)

会員名	会員種別	会員名	会員種別
森田 佐知子	正会員	杉木 佐知子	正会員 (購読)
齋木 太郎	学生会員	ハーヴェー 佳奈	正会員

(計4名)

「学生会員特例」新設のご案内

2020年度より「学生会員特例」を新設することとなりました。
これは、研究生や博士後期課程単位取得退学者など、常勤の職がなく、
指導教員より継続的に指導を受けている会員を対象に、
通算3年を限度として会員種別を「学生会員」とする特例です。

(*)学生会員：大学院、大学、短期大学、高等専門学校、
およびこれらに準ずる学校に在学中の方。
会費は年額4000円／研究報告年間購読付きで8000円。

本特例が適用されるのは申請した年度のみです。
そのため、年度ごとに申請書を提出し理事会の承認を得る必要があります。
申請に際しては、指導教員の氏名、所属および連絡先を記入していただきます。
ただし指導教員に関しましては、本学会の会員・非会員を問いません。

本特例の適用を希望する会員の方は、学会 Web サイト「入会のご案内」ページにある
「関連書類」から「学生会員特例の申請書」をダウンロードしていただき、
必要事項をご記入の上、事務局（secretariat@jsise.org）までお送りください。

「学生会員特例の申請書」のリンク
<https://www.jsise.org/admission/index.html>

なお、非会員の方でも、上記の条件に合致する方は、
本特例を適用し新規の学生会員として入会することができます。
その場合は、「オンライン入会フォーム（正会員・学生会員用）」の通信欄に
必要事項を記入することで、本特例の申請を行えます。

ご指導されている方などで対象者がおられましたら、
本特例の件をお伝えの上、ぜひ本学会への入会を
ご推薦くださいますよう、お願いいたします。

上記「学生会員特例」に関しまして、ご不明な点等ございましたら、事務局までご連絡ください。